

社会課題解決と 「小さな学校」

2018年3月28日

後藤健夫

教育の質的転換

受動的学習が
得意なのは・・・

「正解のない問い」

脱・正解主義

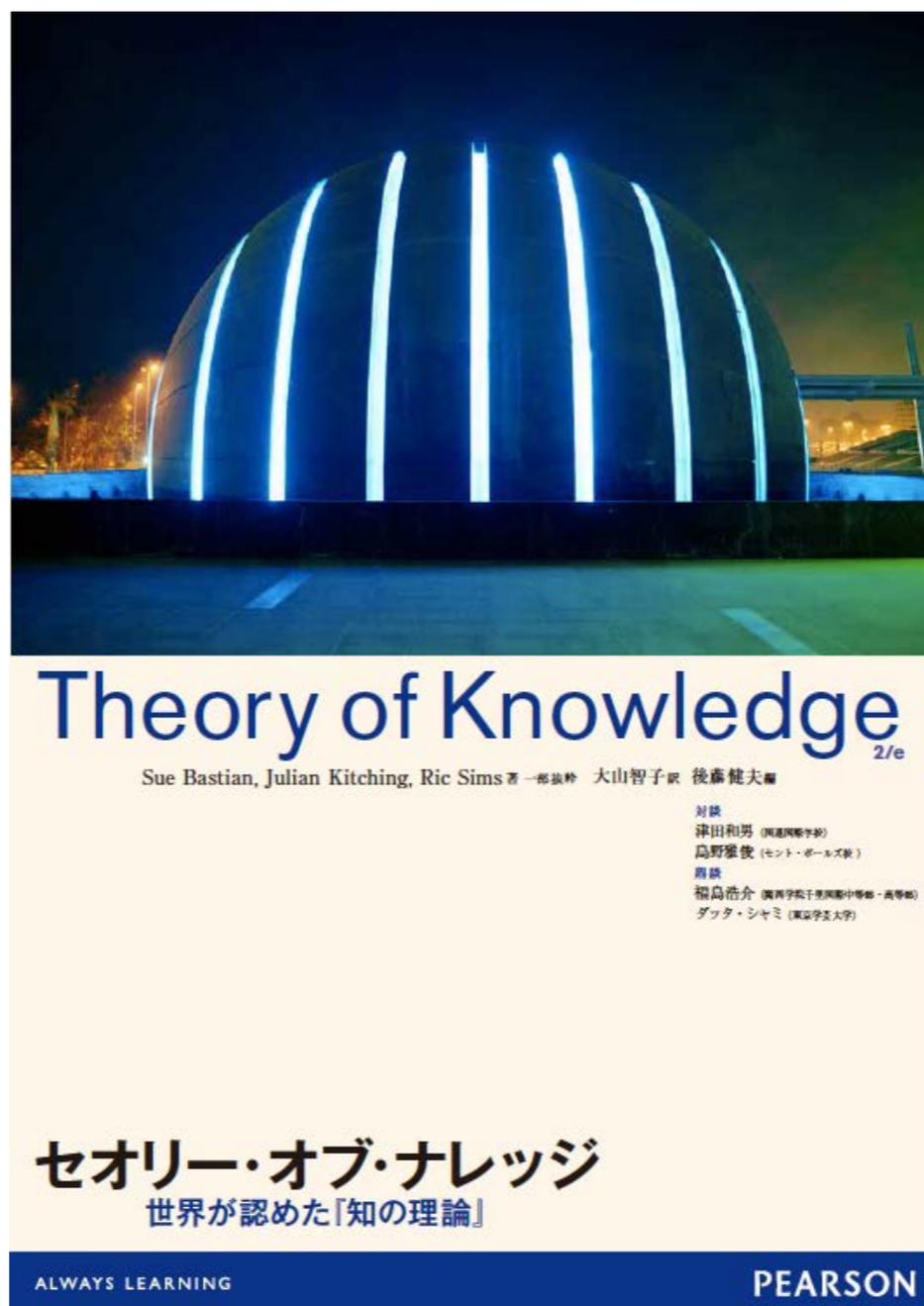
問題解決に向けた 課題設定と最善解

IBのミッション

国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。



セオリー・オブ・ナレッジ 世界が認めた「知の理論」

Theory of Knowledge

英語だけでなく、
TOKのような基礎訓練が
なされていないことが問題だ
(ダボス会議に出た某商社 副社長)

TOK教育実践フォーラム 勉強会 (立命館東京キャンパス)

TOK は『知ることを知る』あるいは『知識そのものをも批判的に捉える批判的思考』などと言われている。

具体的な課題解決から得た問いを概念化してほかの社会課題などに当てはめて分析するようなこともする。

TOK を活用した、地域課題解決のためのPBL を展開すれば、より良い解決策を見出せるのではないか

地域課題解決により
「個人の成長」をめざす

人生100年時代

人生二毛作・三毛作

人工知能の進化により
職業の寿命が短くなる

一生、学び続けるとともに、
自分の能力を客観的に示す

学校歴社会から 学位歴社会へ

さらに、学習歴社会へ

大企業の30代・40代
人生二毛作・三毛作

地方大学が大企業の社員と
地方の課題解決を
取り組めば良い

「対応型」の
学習教材ができたら…

学習は個別化
授業は協同化

「大きな国家、小さな国家」
のように
「大きな学校、小さな学校」

クラウドネイティブの 「読み書きそろばん」とは

さて、学校の機能として
最低限必要なものは何か

そのとき
教員の役割は…

EdTech の可能性を
見つめて、先回りの議論を